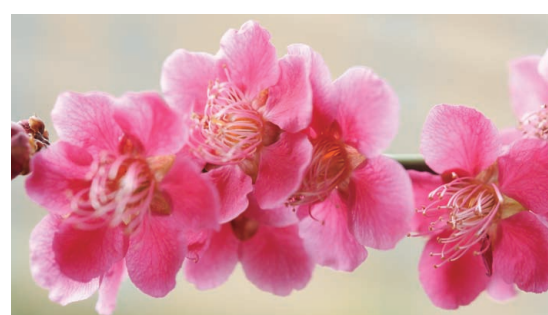


ご卒業おめでとうございます



未来に繋がる
自分へ繋げる



● 卒業生に贈る言葉 総長 学長	2
● 学園を去るにあたって	4・5
● 平成26年度学長賞表彰	6
● 学長賞受賞者・団体のコメント	7
● 卒業生の皆さんへお知らせ	8

卒業生に贈る言葉

やはんしょうめい てんぎょうふろ
夜半正明 天暁不露

総長 池田 魯參



ご卒業おめでとうございます。身心堅固で無事、学業を成就された卒業生の皆さんに、教職員一同心からお祝い申し上げます。皆さんには是非とも、この日を楽しみにして長い間支えてくださった保護者御親族の方々に、感謝の言葉を申し述べて頂きますようお願いいたします。

冒頭の言葉は、毎朝曹洞宗の寺で読誦するお経（洞山良价作『宝鏡三昧』）の一節です。卒業生の皆さんがそれぞれの人生をこれほどの心組みで全うして欲しいと願い、私自身が日頃大切にしている人生訓を掲げました。大意は、いつも仏さまと一緒に、という意味ですが、直訳しますと「真夜中にははっきり見えるもの（仏心）があり、夜が明けても姿を現わさないものがある」という意味です。この後に続いて「物のために則となる、用いて諸苦をぬく（これが人のいのちの理、人生の難題はこの考えで解決がつく）」とあります。

お先真暗な絶望的な状況でもうろたえてはいけません。必ず解決の糸口は見つかるからです。また、目の前の現象にとり乱してはいけません。底にひそんでいる大事に目を凝らすべきだからです。順調なときこそ調子に乗らず、より慎重に事を進めてください。逆風のときはいたずらに嘆くことなく辛抱強く事に当ることです。そういうときこそ、皆さんが本学で学んだ坐禅が力を発揮することでしょう。いつでもどこでも姿勢を正し、呼吸を調べ、心を清め高める工夫を継続してってください。夜半正明、天暁不露なる人生の醍醐味を堪能して欲しいと心から祈願するものです。珍重。

駒澤大学で学んだことに誇りを

学長 廣瀬 良弘



皆さん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。思い起こせば、皆さんが本学に入学する矢先の2011（平成23）年3月11日、東日本大震災が起りました。この復旧復興事業は今後も長く続きます。皆さんも卒業後、自らの生活基盤をしっかりと固めた上で、この事業の支援に参加して欲しいと思います。

皆さんはこの厳しい社会の中で、立派に社会貢献が果たせると確信しております。それは、長い伝統と歴史を持つ禅の大学、駒澤大学で学んできたからです。江戸城を造った太田道灌が城近くに吉祥寺を造ってから550年、徳川家康が江戸入城の頃、吉祥寺の中に本学前身の学林ができて420年、1882（明治15）年、麻布北日ヶ窪（六本木ヒルズあたり）に、近代的な大学として出発して132年、駒澤の地に移転して101年たっています。皆さんは、このような駒澤大学で専門力・人間力を身に付けました。

現在、グローバル化の進む中で、クールジャパンとして禅や日本文化が注目されています。皆さんは、その禅の大学駒澤大学の建学の理念「行学一如」のもとで学びました。「行」とは自分をより優れた人間として育て上げる自己形成のこと、「学」とは学問研究のことです。常にアクティブな姿勢で学問研究に取り組む「行」によって、学問研究は本物の「学」となります。グローバル化社会の中では、禅や日本文化への素養が必ずや問われることになるでしょう。その点でも皆さんは、禅の大学駒澤大学で学んだことを誇りとして、「行学一如」を胸に堂々と生きて欲しいと思います。

一転語

『源氏物語』「蛩」には、物語の中の存在である光源氏が物語論を展開する場面がある。人々が物語に熱中するのを見て、物語は所詮「偽り」だと皮肉ってはみたものの、玉鬘の反論を受け一転して物語の真実味を弁護する源氏の姿は微笑ましい。ギリシャ哲学では、『国家』でプラトンがつくりごとの物語に冷淡な態度を取る一方で、アリストテレスは『詩学』で悲劇をその内容が持つ普遍性のゆえに「哲学的」だと評価し

ている。いずれにせよ物語の制作に携わるのは何も作家だけとはかぎらない。◆シェイクスピアの『お気に召すまま』には「この世は舞台、男も女もみな役者」という有名な台詞が登場するが、ストア派のエピクテトスの『提要』にも、人間を役者になぞらえ、神から与えられた配役を立派に演じることこそが人間の務めだとする一節がある。問題は、自分が演じる台本にどの程度の加筆が許されるのか、ということである。◆人間の定義はさまざまだが、人間が「物語を紡ぐ動物」

でもあるとすれば、人生の意味はその物語にあることになる。そこにおいて私たちは、いわば、物語の全体や結末を知らされぬままにその一部分を担当する共同脚本家であり、それを演じる役者でもあり、さらにまた、時として手厳しい最初の観客・批評家でもある。◆3月はこれまでの学業や仕事にひとつの区切りをつける「卒業」の季節である。これから新たな舞台に立つことになる方々がそれぞれに独自の物語を紡いでいかれることを願ってやまない。

二度と無い 人生だから

教育後援会 ー在学学生父母の会ー



教育後援会会長
堀 純一郎

皆さんは大きな可能性を秘めています。その一方、幾多の困難が少なからず待ち受けています。社会に出て一人で解決できることは多くはなく、同じ組織の仲間はもちろん、他の組織と協力していかなければ事がうまく進まないことばかりです。

そのためには、禅の教えにもありますが「無」の考え方が重要です。特に、お互いが尊重しあい、人と人の壁、組織の壁を作らないという気持ちこそが大切です。

“働くこと”の本質は、何かに仕えて事を為す「仕事」ではなく、志を持って事を為す「志事」だと思います。卒業は、何を志すかを探し続ける旅に出ることかもしれません。真摯な気持ちで「志事」に取り組めば、自ずと道が開けます。

多くの方々を看取ってきた看護師さんの話ですが、死ぬ間際にほとんどの人たちは「もっと自分らしく生きていればよかった」と語るそうです。“二度と無い人生だから”、自分らしく思いっきり生きてください。活躍を期待しています。

志高く、 チャレンジ!!

駒澤会 ー卒業生父母の会ー



駒澤会会長
森屋 正治

ご卒業おめでとうございます。駒澤大学駒澤会は卒業生の父母の会として、一人でも多くの学生に奨学金を授与することを第一の目的として、永きに渡り活動している団体です。

皆さまは本日、駒澤大学での学びを終え、明日から新たな舞台での挑戦が始まります。いよいよ研磨された学力、知識、経験を遺憾なく発揮できるときがきました。何事にも積極的に、真剣に取り組み、努力することで必ず自分にプラスとなって返ってきます。自分なりの希望を掲げ、今現在を大事にしてチャレンジし続けてください。

学ぶという面では学生も社会人も同じです。社会人になっても自ら学び、そして経験していくという姿勢が必要です。主体性を持ち、志を高く進んでいけるかで今後の人生が決まります。

駒澤大学の卒業生として皆さまが各分野でご活躍されることを願っています。皆さまの栄光に輝く未来を祈念しお祝いの言葉といたします。

日本中から 母校とともに

同窓会 ー卒業生の会ー



同窓会会長
萩野 虔一

同窓会はすべての都道府県に支部を有し、支部長を中心に日本中で活動しています。地方支部には、何十年も母校を訪れていない方々がありますが、マスコミを通じて在校生の活躍を目にすると、母校に期待する思いは人一倍強いことがわかります。私の住む三重県支部では今年行われた支部総会後に同窓生の津軽三味線「輝&輝」と『三重県曹洞宗青年会和太鼓集団』の実演をしました。近隣の方々、在校生父母、そして家族が同窓生であった方までいらして、支部活動が盛り上がりました。遠方から足を運んでくださったことに感謝しつつ、改めて同窓会が果たす役割は地方でも大きな意味があると実感しました。職種の異なる先輩後輩と学部を越えた仲間となり、何方にも駒澤大学の素晴らしさを共有していただける活動は、末永く受け継いでいきたいと思えます。

卒業を迎えた皆さまと再び支部総会で会えることを切に願い、本日の良き日を心よりお祝い申し上げます。

卒業される皆さんへ 学部長からのメッセージ

ご卒業おめでとう。

大学生活は、どうでしたか。入学時のフレッシュ感を今日まで維持できましたか。渡辺 華山、「商人八訓」の一つに「開店の時を忘れるな」があります。商人版の「初心忘るべからず」です。幕末、蛮社の獄で有名な人であり、「商人八訓」についてもWebで調べるとためになります。

皆さんは、いよいよ社会人として出発点に立ちました。これまでは保護者の庇護のもとにありましたが、これからは「自力で生活する」社会人です。この身震いするようなフレッシュ感を忘れないうでください。

大学生活は楽しかったね。ゼミやサークルでの一コマ一コマが、古くさく言えば「走馬

灯のように」イメージに現れては過ぎ去っていく、楽しかった大学生活の記憶が、皆さんのお一人お一人に必ずあることなのでしょう。これが皆さんの財産です。あの時、自分は頑張れた。だから、辛い今も頑張れる。

あるいは、ノー天気にも、あのとき楽しかったから、少しぐらいの辛さは仕方ないか。でもね、無理しないこと。

人間突っ張り切っては生きられない。社会人として少し疲れたら、フラリと母校にお出でください。駒澤大学は学生時代と変わりがありません。ついでに駒沢公園も散策すると良いでしょう。もちろん、恩師訪問もリフレッシュに役立ちます。私の無連絡のゼミ生も20年ぶりにフラリと研究室に現れ、嬉しかった経験

もあります。

青春真ただ中、皆さんの稔り豊かな人生行路を祈っております。

(経営学部長 片桐 伸夫)

仏教学部	金沢 篤
文学部	谷口 泰富
経済学部	小栗 崇資
法学部	大山 礼子
経営学部	片桐 伸夫
医療健康科学部	瀬尾 育武
GMS学部	川崎 賢一
総合教育研究部	池上 良正
法科大学院	對馬 直紀

学園を去るにあたって



仏教学部仏教学科4年
深瀬 伊世

日々成長した4年間

に立ち会うことができ、応援に行く全国先々であたたかく迎えてくださった駒大OBや後援会の方々、日頃お世話になった駒大職員の方々など、自分たちの活動は、支えてくださる様々な方のおかげで成り立っていることを身をもって感じることができました。

また、私が卒業論文で取り組んだ曹洞宗の“峨山禪師”は、人材育成に力を入れた方でした。峨山禪師の教えと、4年間で学んだ「縁の大切さ」という心得を、卒業後は学生さんという種をくわき、水と光となって支えられる、「人を育てる仕事」である学校法人の事務職員として勤める上で生かしていきたいと思えます。

4年間熱心にご指導いただいた先生方、そして駒澤大学に感謝申し上げます。ありがとうございました。

私は4年間、応援指導部ブルーペガサスに所属しながら、日々勉強と部活動の両立に励んできました。硬式野球部や陸上競技部の応援活動を行ってきて、全国優勝という貴重な歴史的瞬間



文学部歴史学科
日本史学専攻4年
林 咲子

出会いの大切さ

オープンキャンパスで駒澤大学に来た高校2年生のとき、現在お世話になっている小泉先生の模擬授業がきっかけで駒澤大学への進学を決意しました。今では、先生の後ろにくっついて色々な場所へ連れて行ってもらったり、ご教授を賜ったりと、あの頃の私が想像できないほど先生の近くで学ぶことができていることに、喜びを感じます。

歴史を勉強したいと思っていた

私にとって、大学生活は、とても恵まれた環境にありました。私と同じ想いを持った友人たちに囲まれ、研究に励み、語り合った日々。今思うと、小泉先生との出会いがなければ、この楽しかった4年間は送れなかったと思います。一期一会のように、一つ一つの出会いが自分を成長させる大切な出来事なのだと考えます。これまでに出会

えたすべての皆さまに感謝します。本当にありがとうございました。



経済学部商学科4年
福村 侑香

学びと努力の4年間

駒澤大学で「教員免許を取得するぞ」と意気込んで入学してから、あっという間に4年が過ぎました。入学する前は友人ができるかとても不安でしたが、学生寮で他大学の学生と4人部屋で過ごし、すぐ仲良くなりました。学部では、2年生からゼミが始まりましたが、谷敷ゼミでゼミ長を務め、充実した学生生活を送りました。教員免許の取得もあり、教職履修の仲間たちと一緒に頑張ってきたことも良い思い出で、学長学業奨励賞もいただくことができました。ゼミでは地域経済に関心を持って研究し、地元へ帰りたい気持ちがしだいに強くなり、地元の地方銀行へUターン就職が決まりました。今後は、駒澤大学で学んだ経済知識を活かし、行内で活躍できるバンカーになるために頑張りたいと思います。お世話になった皆さん、本当にありがとうございました！忘れません。





法学部政治学科4年
清野 祐一郎

充実したゼミ活動



私が大学生生活で最も印象に残っているのは、ゼミでの活動です。2年次に基礎ゼミを選ぶ際、ディベートに興味があり、ディベートや行政事件の模擬裁判を行っている塩入先生のゼミに入りました。そこで「何もしないのはつまらない」という思いから、ゼミ長に立候補しました。

ゼミでは仲間と図書館にこもってディベートの打ち合わせをしたり、公務員試験に向けての勉強会をしたり、休暇期間には仲間と旅行に行ったりと様々な経験をしました。ゼミ長としてのゼミでの議事や進行・ゼミの運営は大変でしたが、次第にゼミの仲間から慕われ、信頼されるようになり、楽しく充実したゼミ活動を送ることができました。

最後に、お世話になった両親と家族、友人・ゼミの皆さん、ご指導して下さった塩入先生にお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。



経営学部経営学科4年
金 哲君

やればできる

駒澤大学での4年間の留学生生活を振り返ると、昨日のことのように思い出されます。

毎日同じことの繰り返しの中で、このまま人生が終わっていくのかと恐怖を感じ、人生をやり直す気持ちで日本へ留学するという道を選びました。当時は、家族や親友にも反対されましたが、「やればできる」と

いう何の根拠もない自信だけで日本に来ました。今考えると笑える話ですが、相当な覚悟を持っていました。

人生は不確実の連続で、だからこそ楽しいのではないのでしょうか。

これから社会に出る自分も含めた卒業生は、自分がこの先歩んでいく人生はどうなっていくのだろうと漠然とした不安でいっぱいだと思いますが、駒澤大学で過ごした4年間を通じて、それぞれ自分の心の中に答えがあるはずで、きっとよい人生が待っているはずで、

4年間、ありがとうございました。



医療健康科学部
診療放射線技術科学科4年
香取 薫

充実の4年間



駒澤大学に入学してあっという間に4年が経ちました。入学当初は勉強面や初めての環境に不安がありましたが、嘘のように充実した日々を過ごすことができました。毎週提出がギリギリになってしまった実験レポート、友だちと試験前に夜遅くまで勉強したこと、休み時間にふざけ合ったこと、今振り返れば辛かったことや楽しかったことのすべてが良き思い出です。こうして充実した日々を過ごせたのも授業、臨床実習、サークル、アルバイトを通じてたくさんの人々に出会い、支えてもらったからだと思います。

卒業後は駒澤大学で学んだことや経験を活かし、頼れる診療放射線技師になれるよう、日々努力していきたいと思います。

最後になりましたが、4年間お世話になった先生方、周りの友だち、先輩、後輩、家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



グローバル・メディア・スタディーズ学部
グローバル・メディア学科4年

大浪 優紀

支え、励ましてくれた方々へ

学生生活を振り返ると、「感謝」の気持ちで胸がいっぱいになります。それまで点数を得る手段に過ぎなかった勉強が、駒澤大学に入学してからは、社会の中でどのような生き方をしていきたいのかを見つめる時間へと変わり、知識を得ることの喜びを知りました。それは白水先生をはじめ先生方の愛情のこもったご指導、そして支えあった友人たちの存在があったからです。

そして家族。インドでのボランティア、海外での長期留学と、私の大きな決断のとき、いつも私を信頼し応援してくれました。おかげで、私も自信を持って足を踏み出すことができました。この経験を将来への大きな資産としたいと思います。

私はさまざまな人と出会い、支えられてきました。影響を与えてくれたすべての方々へ、「本当にありがとうございました」。



平成26年度 学長賞表彰

学長賞 3団体20人

学長奨励賞 7団体25人

学長賞および学長奨励賞は、学業・善行・研究・文化・体育などの分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉向上に貢献をした者、または学生団体をたたえる賞です。

学長賞受賞団体と学長賞を受賞した卒業年次生は、3月25日(水)の卒業式において表彰されます。

学長賞

■ 団体の部

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した学生団体

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

<空手道部>

内閣総理大臣杯第57回全国空手道選手権大会 男子団体形・組手優勝 女子団体形・組手優勝

<硬式野球部>

第45回記念明治神宮野球大会 優勝

<陸上競技部>

秩父宮賜杯第46回全日本大学駅伝対校選手権大会 優勝

■ 個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶ 取得科目平均点が100点満点中90点以上でかつ全ての評価がA以上の者

● 吉田 愛 (地理4)

▶ <専門職学位課程>

総合GPAが3.0以上でC評価及びF評価がない修了見込者であって、研究科教授会の推薦がある者

● 常富 智紀 (法曹養成専攻3)

▶ <博士後期課程>

最短期間の課程により学位を取得し研究業績が著しく優れ、研究科委員会の推薦がある者

● グレイス ステファン (仏教学専攻3)

● 佐藤 久弥 (診療放射線学専攻3)

● 安田 光慶 (診療放射線学専攻3)

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

● 矢上 悠香 (英米文4) 剣道部

第8回全日本女子学生東西対抗試合 優勝(東軍所属) 優秀選手

● 林田 翔太 (商4) ボクシング部

第17回アジア競技大会ボクシング競技 フライ級3位銅メダル

第84回全日本ボクシング選手権大会 フライ級優勝

● 田中 亮明 (商3) ボクシング部

第69回国民体育大会ボクシング競技 フライ級優勝

● 金中 竜児 (禅2) ボクシング部

第69回国民体育大会ボクシング競技 バンタム級3位

● 廣瀬 まり (仏教4) 空手道部

内閣総理大臣杯第57回全国空手道選手権大会 一般女子個人組手の部優勝

● 栗原 秀元 (仏教3) 空手道部

内閣総理大臣杯第57回全国空手道選手権大会 一般男子個人形の部2位

船越義珍杯第13回世界空手道選手権大会 一般男子形優勝

● 水川 菜緒 (地理4) 空手道部

内閣総理大臣杯第57回全国空手道選手権大会 一般女子個人形の部2位

● 田口 聡珠 (グローバル・メディア4) 空手道部

船越義珍杯第13回世界空手道選手権大会 一般女子組手優勝

● 佐野 まどか (国文3) 空手道部

船越義珍杯第13回少年世界空手道選手権大会 19歳~21歳女子組手優勝

● 岡野 拓馬 (政治2) 空手道部

船越義珍杯第13回少年世界空手道選手権大会 19歳~21歳男子組手3位

● 伊東 佑季 (商4) 空手道部

船越義珍杯第13回世界空手道選手権大会 一般女子組手3位

● 宮崎 陽香 (経済2) 空手道部

船越義珍杯第13回少年世界空手道選手権大会 19歳~21歳女子組手3位

● 今永 昇太 (経済3) 硬式野球部

平成26年度東都大学野球秋季リーグ戦 1部最高殊勲選手賞・最優秀投手賞・ベストナイン(投手)

● 中谷 圭佑 (経済2) 陸上競技部

第15回世界ジュニア陸上競技選手権大会 日本代表(男子10000m)

学長奨励賞

● 榎木 祥子 (歴史3) 自転車部

2014世界大学選手権自転車競技大会 日本代表 10位

■ 団体の部

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した学生団体

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

<瀬戸岡 紘ゼミナール>

日本学生経済ゼミナール第61回全国大会のプレゼンテーション部門において第3位を受賞

<経済学部 松岡 遥・峯崎 真実・大澤 佑介・堀 由樹子>

平成26年度公益財団法人九州運輸振興センター懸賞論文において優秀賞を受賞

<剣道部>

第40回関東女子学生剣道優勝大会 敢闘賞(ベスト8)

<体操競技部>

第29回東日本学生体操競技グループ選手権大会 女子団体総合選手権2位

<射撃部>

平成26年度関東学生ライフル射撃選手権秋季大会 女子総合団体3部リーグ 優勝(2部昇格)

<アイススケート部>

平成26年度関東大学アイスホッケーリーグ戦 3部リーグ2位(2部昇格)

<野球サークルファイヤーベアーズ>

ナイキカレッジベースボール<第32回関東大学軟式野球同好会選手権大会> 優勝

■ 個人の部

人物及び学業又は研究業績とも優秀な者

▶ 研究論文、ゼミ等で著しい研究成果があり、教授会の推薦のある者

● 大久保 裕貴 (商3)

平成26年度税理士試験において「簿記論」「財務諸表論」の2科目同時合格

研究・文化・体育活動等の分野で目覚ましい活躍をし、大学の名誉高揚に著しく貢献した者

▶ 対内外的において、著しい業績をあげた者または学生団体

● 齊藤 龍馬 (経済3)

2014年度経済学部学生奨学論文の審査において特選を受賞

● 遠藤 拓也 (経済3)

平成26年度「学生ビジネスプランコンテスト」(一般財団法人学生サポートセンター主催)において努力賞を受賞

● 濱野 優花 (商3)

松江オープンソース活用ビジネスプランコンテスト2014において奨励賞を受賞

<剣道部>

● 和栗 宏恵 (英米文2)

第48回全日本女子学生剣道選手権大会 敢闘賞(ベスト8)

● 鶴岡 貴大 (法律4)

第60回全日本仏教系大学剣道大会 優勝

<陸上競技部>

● 村山 謙太 (経済4)

秩父宮賜杯第46回全日本大学駅伝対校選手権大会 1区区間賞 第93回関東学生陸上競技対校選手権大会 男子2部10000m優勝

● 中村 匠吾 (経済4)

秩父宮賜杯第46回全日本大学駅伝対校選手権大会 4区区間賞 第91回東箱根間往復大学駅伝競走 1区区間賞

● 黒川 翔矢 (現代応用経済4)

秩父宮賜杯第46回全日本大学駅伝対校選手権大会 7区区間賞

<体操競技部>

● 西脇 三姫 (経済2)

第29回東日本学生体操競技グループ選手権大会 女子種目別選手権平均台2位

● 大内 梨 (市場戦略1)

第68回全日本学生体操競技選手権大会 女子2部種目別選手権の部平均台3位

● 八木沼 孝 (禅3)

平成26年度関東学生体操競技交流大会 男子種目別選手権の部 平行棒優勝

● 徳永 晴優 (法律2)

平成26年度関東学生体操競技交流大会 男子種目別選手権の部 跳馬優勝

● 佐々木 雄大 (現代応用経済3)

平成26年度関東学生体操競技交流大会 男子種目別選手権の部 鉄棒2位

● 石田 知里 (市場戦略4)

平成26年度関東学生体操競技交流大会 特別賞

<TIME-OUTバドミントンクラブ>

● 小堀 輝也利 (経営1)

関東大学バドミントンサークル連盟第34回シングルス大会 男子Aランク優勝

<空手道部>

- 鳴島 由貴 (経済3)
第25回関東学生空手道体重別選手権大会 男子-67kg級優勝

<硬式野球部>

- 齋藤 導久 (政治4)
平成26年度東都大学野球春季リーグ戦 1部ベストナイン (外野手)
- 高橋 亮介 (法律2)
平成26年度東都大学野球秋季リーグ戦 1部ベストナイン (捕手)
- 江越 大賀 (法律4)
平成26年度東都大学野球秋季リーグ戦 1部ベストナイン (外野手)

<野球サークルファイヤーベアーズ>

- 山本 侑紀 (市場戦略1)
ナイキカレッジベースボール<第32回関東大学軟式野球同好会選手権大会> 大会MVP

<準硬式野球部>

- 魚野 拓真 (現代応用経済3)
平成26年度東都大学準硬式野球春季リーグ戦 2部最優秀選手賞

<オーストラリアンフットボール部マグパイズ>

- 大浦 久義 (グローバル・メディア4)
AFL インターナショナルカップ2014 日本代表
- 甲斐 大貴 (現代応用経済3)
AFL インターナショナルカップ2014 日本代表
- 吉田 颯平 (経営3)
AFL インターナショナルカップ2014 日本代表

学長賞受賞者のコメント

感謝の学長賞



林田 翔太

経済学部
商学科4年
ボクシング部

このたび4年
連続4回目の学
長賞をいただく

ことができ、大変嬉しい気持ちでいっ
ぱいです。本当にありがとうございます。

私は1年生の時はリーグ戦の補欠に
もなれなかったのですが、その年の国
民体育大会では優勝することができま
した。唯一私が持っている才能は「一
つのことをやりとげる強さ」だと思
います。これは育った環境と両親のお
かげです。心から感謝しています。そ
して私の青春そのものであるボクシング
部の皆さま、本当にありがとうございました。

今までの経験を活かして、オリンピ
ックの出場を目指します。これからも
応援よろしく願いいたします。

出合いに感謝



矢上 悠香

文学部
英米文学科4年
剣道部

この度は名誉
ある学長賞を受
賞でき、とても

光栄に思っております。

剣道部に所属し4年という年月が経
ちますが、振り返ってみると本当にあ
っという間でした。全日本大会に出場
したいという思いが、いつの間にかこ
のメンバーで日本一になりたいという
思いに変わっていました。残念ながら
日本一に輝くことはできませんでしたが、
それ以上に、素晴らしい先生や先
輩方にご指導いただき、素晴らしい仲
間たちと毎日汗水たらして稽古できた
ことが、かけがえのない経験だったの
ではないかと思えます。

周りの人に支えられ、技術面だけで
はなく、人としても少しは成長でき
たと思います。感謝の気持ちでいっ
ぱいです。本当にありがとうございました。

お礼と抱負



中谷 圭佑

経済学部
経済学科2年
陸上競技部

この度は、学
長賞をいただき
ありがとうござ

います。

今年度は世界ジュニア大会で初めて
の世界大会を経験することができ、さ
らに上を目指そうという気持ちになり
ました。

大学駅伝では、全日本大学対校駅伝
で優勝することができましたが、箱根
駅伝ではまたしても優勝を逃してしま
う結果となりました。

来年度はエースとしてチームを引っ
張っていき、大学駅伝では三冠に導け
るようにしていきたいです。そして駅
伝だけでなく、個人のトラックレース
でも昨年以上の結果を残したいと思
います。これからもよろしく願いた
します。

学長賞受賞団体のコメント

今年の春も期待してください!

硬式野球部



昨年、硬式野球部は秋の東都大学リーグ、明治神宮大会(全
国大会)で優勝しました。それぞれ13年ぶりとなった優勝を
駒澤大学に関わるすべての方々に喜んでもらえて大変光栄で
す。ありがとうございました。

硬式野球部には100人の部員がいますが、学生の皆さんにと
っては机を並べる友だち、教職員の方々にとっては関わりが
いのある学生であってほしいと思っています。4月から春の
シーズンが始まりますが、是非一度、神宮球場に足を運んで
ご観戦ください。友だちと学生は、好プレー・好勝負を見て
いただけるようドロドロになって準備中です。

(部長 日野 健太 経営学部教授)



途切れなく続く長蛇の列



応援を送るブルーベガサス



パオの皆さん

喫茶パオ 惜しまれながら閉店

2月16日(月)に喫茶パオが閉店しました。

最終日は朝から多くの在学生・卒業生がレジに並び、人気メニューの「明太スパ」や「ミートスパ」などを味わいながら別れを惜しまました。14時を回り営業が終了すると、応援指導部ブルーベガサスが店長に花束を贈呈し、訪れた人たちから温かい拍手が送られました。その後行われた校歌斉唱では全員が肩を組んで歌い、パオへの感謝を伝えました。

1971(昭和46)年の開業以来、駒大のソウルフードとして親しまれたパオが、44年にわたる歴史に幕を閉じました。
(広報課)



在学生・卒業生とともに記念撮影

卒業生の皆さんへお知らせ

卒業証明書、成績証明書等の申し込み

窓口申し込み、郵送申し込みの2つの方法があります(電話・FAX・Eメール等による申し込みは受け付けません)。

【窓口申し込み】

公的機関発行の身分を証明するもの(運転免許証・パスポート・健康保険証・住民票等)を持参のうえ、直接来校してください。(教務部①番窓口)

【郵送申し込み】

以下の4点を封書で郵送してください。

- 公的機関発行の身分証明書の写し
- 必要事項記載用紙
 - ①氏名(卒業時氏名・フリガナ併記。英文証明書希望者は欧文氏名も併記してください)
 - ②生年月日
 - ③入学年月・卒業年月
 - ④学部・学科・専攻
 - ⑤学生番号
 - ⑥フレックスA・Bの別
 - ⑦卒業時の本籍地(都道府県名)
 - ⑧証明書種類・必要部数(厳封の要・不要を記入してください)
 - ⑨使用目的・提出先
 - ⑩連絡先(住所・電話番号・日中連絡のつく電話番号も併記)
※任意の書式可。また本学ホームページより専用フォームのダウンロードも可能です。
駒澤大学ホームページ
<http://www.komazawa-u.ac.jp/>

- 証明書発行手数料(切手)
1通300円
(英文による証明書は1通600円)

- 返信用封筒
長形3号封筒 23.5×12cm
宛先明記・送料分の切手貼付

【申し込み先】

〒154-8525
東京都世田谷区駒沢1-23-1
駒澤大学教務部 証明書係
TEL: 03-3418-9121

なお、夏季・冬季休業中、及び学校行事等で事務取り扱い日・時間に変更になることもあります。お問い合わせください。

卒業アルバムを購入された方へ

卒業アルバムは4月末の発送、5月上旬のお届けを予定しています。

予定を大幅に過ぎても卒業アルバムが届かない場合や住所変更などのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

- 【卒業アルバム問い合わせ先】
学生部学生係(学生部①番窓口)
TEL: 03-3418-9064

卒業後の図書館利用について

卒業後も図書館のご利用ができます。来館の際は、1階カウンターで、身分を証明するもの(運転免許証・卒業証明書等)を提示し、所定の「図書館利用願」に記入して、館内利用の手続きを行ってください。

貸出が受けられる貸出登録手続き等の詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

【問い合わせ先】

図書館情報サービス係
TEL: 03-3418-9165
http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/library_guide/sotsugyousei/

総合情報センターから 卒業生および修了生の方へお知らせ

卒業生および修了生の方のユーザIDは、3月31日をもって削除されます。

これに伴い、個人データはメールも含めすべて削除されますので、ご注意ください。

駒澤大学同窓会からのお知らせ

同窓生総数225,000人!皆さまの積極的な参加・協力をお願いします!

- 全国に58支部を擁し、各支部では、総会・懇親会・支部ごとの交流会を行い、結束を強め、母校を応援しています。
- 卒業時の住所により、各都道府県支部に登録されます。卒業後に住所変更等がされましたら、事務局までお知らせください。
- 卒業後は、年1回「同窓会だより」をお送りします(毎年9月発行)。各支部の活動や大学の近況がわかります。未着の場合は、住所不明者扱いになっておりますので、必ずご連絡ください。

【事務局連絡先】 TEL: 03-3418-9189
FAX: 03-3418-9190

<http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/alumni>